

研究所だより 1月号

くろしお

発行:黒潮町教育研究所

幡多郡黒潮町佐賀1092番地1(黒潮町教育委員会内)

TEL 0880-55-3190 Fax 0880-55-3850

Email: kuroshio-l@kochinet.ed.jp

URL: <http://www.kochinet.ed.jp/kuroshio-l/>



早いもので干支も変わり、今年度もあと2か月足らずになってしまいました。各校、寒さとインフルエンザと闘いながら1年間の締めくくりに取り組んでいることと思います。「今年度はこれをやりきった。」子どもも、教職員もこの学年を一生懸命生きた証を残したいですね。2学期までを振り返って、まだやりきれていないこと、しっかりやっていきたいですね。

特別支援教育学習会

講演

「楽しい学校生活を送るために」(仮題)

～教育一家庭一医療のチームアプローチについて～

講師

高知大学医学部付属病院

子どもの心診療部

医師 脇口 明子

発達障害の特性や現状についての基本知識やそれぞれの障害に対する具体的な手立てについて、詳しい資料とともにお話いただきました。学級の児童のおよそ5人に1人、多いときは半数ほどが発達障害であると考えられるという現状に、先生方も驚きながらも実態との一致を感じたのではないのでしょうか。

講演後の感想では、発達障害の手立てとして「構造化」についての具体的な実践例を提示いただいたので、学校でもすぐに取り組んでみたいという声が多く聞かれました。学習会終了後も、直接自校の状況についての相談を希望する学校も多かったようです。今後も脇口先生には、黒潮町の特別支援教育についてご指導いただきたいと思います。相談を希望される学校は、SSW松田(55-3190)までご連絡ください。



年度末…今年度のまとめや来年度に向けて、またまたたくさんの提出物をお願いしています。

行事計画・月ごとの欠席状況報告・ALTの計画については研究所に提出となっていますので、よろしくお願いします。



まだまだ、寒い日が続きます。体調には十分ご留意ください。

第5回学力向上委員会のまとめ

- 全国学力・学習状況調査の結果・分析報告（別紙資料）
- 小学校力だめしテスト・中学校実力テストの結果報告（別紙資料）
- 今年度の総括と来年度に向けて

●学力について

学力調査から見えてきた課題

- ◆1 漢字力
- ◆2 活用の問題（理由や考えを述べる問題）

今後の取り組み

- ◇1 漢字を丁寧に添削する（間違えたままにしない・許容の書き方か）
⇒漢字粗動の手引きを学力向上委員会予算で購入
- ◇2 記述問題に慣れさせる（過去の問題など、理由や考えを文章で表現する練習をする）
⇒過去の問題がない場合は研究所へ問い合わせ

詳しいデータは研究主任さんを通じて各校にお返ししています。各校の結果をもう一度見直し、今年度までの力をつけて、次の学年に送りましょう。

●学力向上委員会の開催時期・回数について

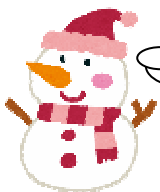
- ・今の時間設定では、内容からすると短いと思うが、早く始めることも難しい。
今のままで、効率よく進める工夫をする。

●内容について

- ・他校の実践報告が大変参考になった。
- ・学力向上の取り組みを発表しあい、各校の取り組みを知ることができた。
- ・各校の詳しい取り組みを知りたいが、時間が足りない。テーマを絞って発表するようにしたら良い。

●その他

- ・この会で話し合われたことが、どれくらい学校に伝わっているか。報告だけでなく、具体的な取り組みを提案することで話し合ったことを学校に伝えていく。
- ・力だめしテストについて
 - ◇問題数を少なくしてよかった。
 - ◇この結果をそのままにしない。見えた課題に手立てを。
 - ◇来年度も同じように行う。
- ・平成25年度 第2回学力向上委員会（講師招聘）
 - 日程：7月25日（火）午前
 - 場所：佐賀地区（佐賀中学校）
 - 内容：国語（説明文）の授業（佐賀中学校1年生）・講演「未定」
 - 講師：筑波大学附属小学校 二瓶弘行先生



DVDで校内研を活性化

今年度大方中学校の門田直子先生が、筑波大学に研修に行かれた際購入されたDVDを貸して下さるそうです。

「作り出す校内研修」
「学校におけるコーチング」の2本です。
大方中学校または研究所へご連絡ください。